

平成27年度に建設工事で発生した事件事例（工具・資材による事故）

事故概要：

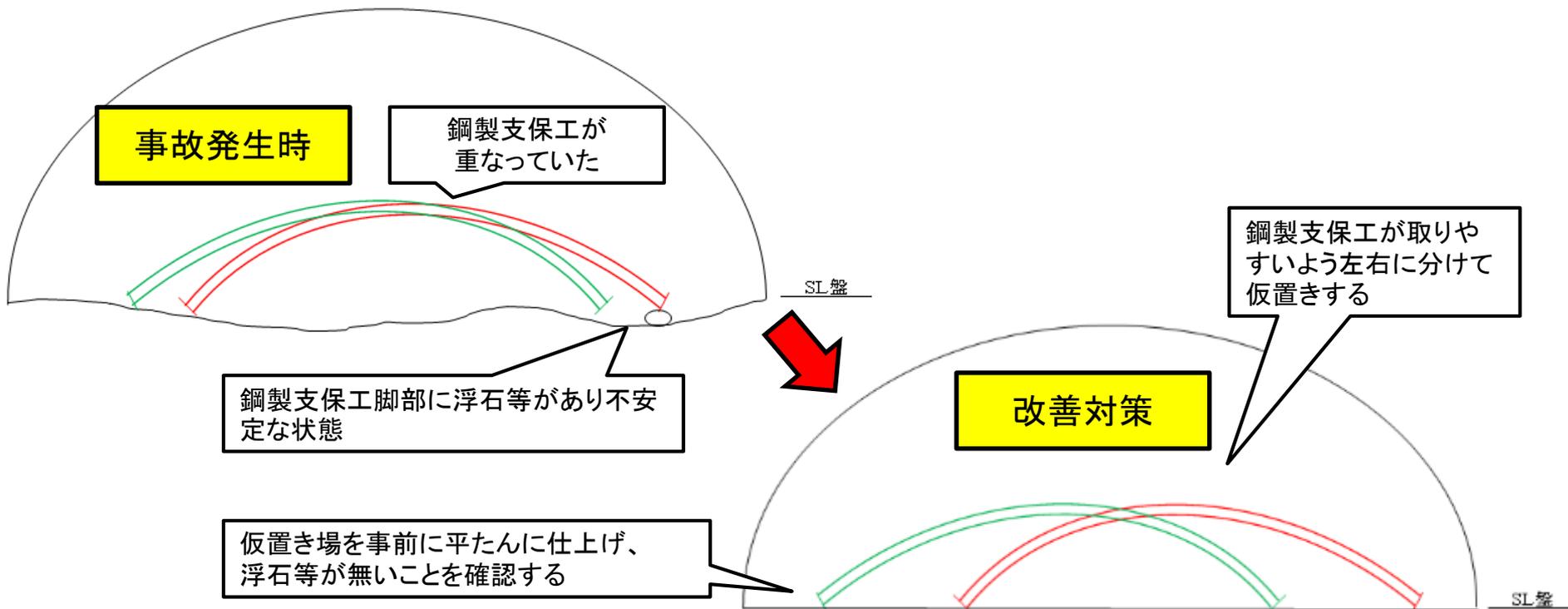
鋼製支保工の建込み作業において、仮置きした支保をジャンボ受け台に受けようとしたところ、支保が重なりすぎて受け取れないため、支保をジャンボ受け台にセットするため、作業員が支保を建て起こそうとしたところ、支保が滑り落ち、足が支保と地面に挟まれ、驚いた拍子に体勢を崩し後方に転倒して負傷した

事故原因：

- ・仮置き方法に不備があった（重なりすぎていた）
- ・平坦でない箇所（浮石）に仮置きしていた
- ・本事象発生時の作業手順が不確立だった

改善対策：

- ・支保は重ならないよう左右に分けて仮置きする
- ・仮置き箇所は平たんに仕上げる
- ・ジャンボ受け台に受けるまで立ち入り禁止とする



分類：トンネル、支保工

被害状況：6週間の加療（左腓骨遠位端骨折、左第4中足骨骨折）

平成30年度に建設工事で発生した事件事例（墜落・転落による事故）

【事故概要】

トンネル支保工の吹付コンクリート作業において、作業員がコンクリート吹付機から降車する際に、装着していたプロテクターが機械のタラップの手摺に引っ掛かりバランスを失って、高さ約1.3mから転落した。

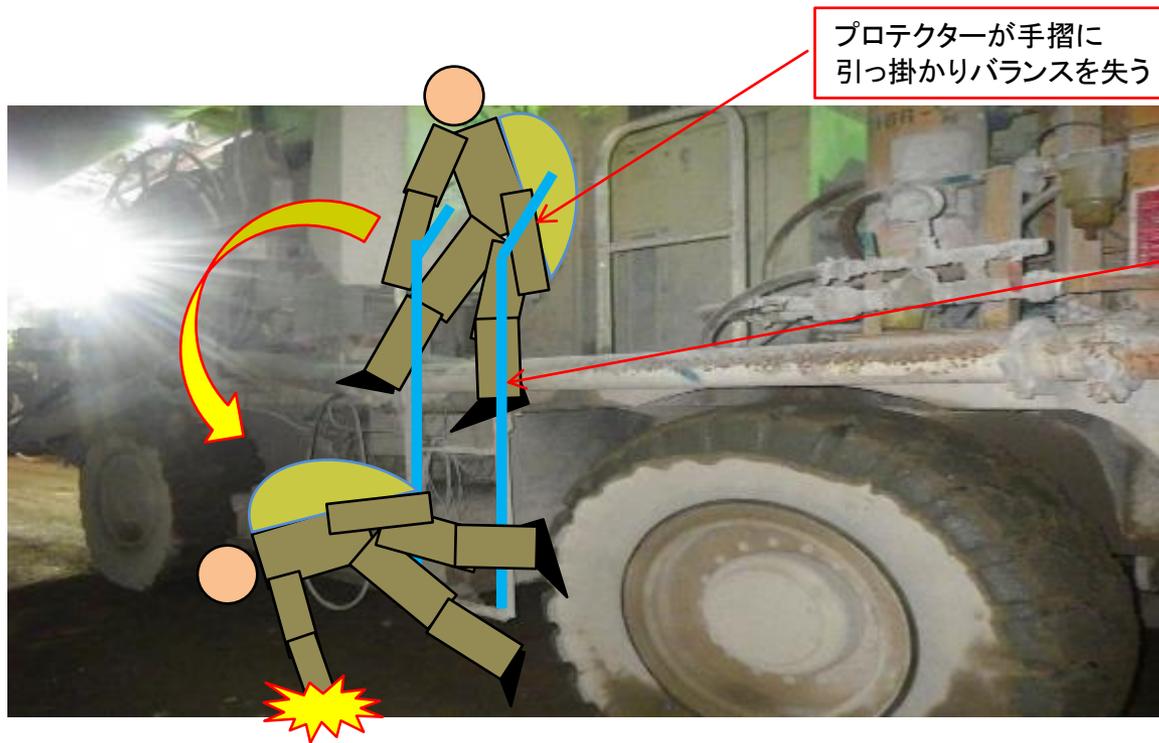
転落の際、右手を下に向けた姿勢で地面に衝突し右手を負傷した。

【事故原因】

- ・施工機械の入れ替えに慌てていて、不安定な状態で体の向きを変えた
- ・プロテクターの固定紐がゆるんでいた

【改善対策】

- ・タラップを使用する時は、手摺に正対し両手で手摺を持ち三点支持で昇降する
- ・作業開始前にプロテクターの固定状況を確認する
- ・手摺を高さ1.7mに上げ、直線型の引掛りにくいものに交換する
- ・プロテクター装着に関する点検表を作成し、作業員と作業責任者の2名で確認する



手摺の高さを上げる
0.8m → 1.7m
引掛りにくい形状に変更
く字型 → 直線型

プロテクター装着に関する点検表

点検箇所	点検項目
ベルト	自分の体型に合った長さ調整はできているか 摩耗・張り切り、切り傷は無いか
バックル	変形・傷は無いか 前後・後部のバックルの固定状況はよいか
プロテクター	プロテクターの衝撃吸収材に破損等無いか プロテクターの装着時に履きやすいか

【分類】トンネル、支保工

【被害状況】右橈骨遠位端開放性粉碎骨折（全治4ヶ月間）